

しかはま自然観察会

# のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』No.8

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台 2-14-7

☎090-7275-9890

2018, 9, 9

## 第8回活動「稲刈り体験とキッコマンしょうゆ工場見学」

曇り空の稲刈り日和。鎌を持って田んぼに入りました。

9回目を数え、要領がわかってきました。

稲を刈る人、わらで縛る人。順調です！

その回りでは、写真を撮る人、バッタ・カエル・カメ

をつかまえる子どもたち。

そして、「へびだ！」との声に、稲を刈る手を休めて集まる

のらえもんの皆さんでした！

1, 日 時： 2018年9月9（日）全日

2, 天 気： 曇り

気温・・・・・・・・・・30℃

田んぼの土の温度・・・25℃

3, 交 通：○ヨツバ観光バス

4. 場 所：○茨城県常総市大生郷新田町1558

宅間農園 宅間 広

○キッコウマンしょうゆ工場「もの知りしょうゆ館」

5, 参加者：総数 62人

内訳 35家族

大人 35

中学生 1

小学生 18

幼児 5

スタッフ 3

6, 活動の様子

①稲刈り

● 共に顔の見える関係

生産者である宅間様と消費者であるのらえもんが、お互いに顔の見える関わりをつくっているのが、こののらえもんの田んぼ体験活動です。

お米を、田んぼまで出かけて行き、どのように育て米になるのか、田植えや稲刈りを通して五感で体験すること。さらには、田んぼの回りにはカメ・

カエル・ヘビ・バッタなどの生き物たちがたくさん住んでいることをその目でみること。これらの風景を思い出しながら食べるお米と、スーパーで買ってきて食べるお米とでは、何かが違うような気がします。その「何かが」を大切にしたいと思います。

そして、生産者と消費者は、どちらもなくてはならない関係であることをしっかり認識しておきたいと思いました。

● 宅間さんの長男

今、大学4年生。その彼が、コンバインを巧みに運転していました。宅間様に「頼りになりますネ！」と言うと、「ハイ、二人ですると、3倍も4倍も、仕事ははかどります！」と語っていました。

大学卒業後は、しばらく会社勤めをしながら、農繁期に手伝いに加わるようでした。

ぜひとも後を継いで欲しいと、願わずにはおられませんでした。

● 40分！

10時10分に、稲刈りが始まりました。

\* 鎌を持って、稲の前に立つ親子。

\* 虫取り網を持って、キョロキョロ見ている子。

\* 写真を撮っているひと。

\* 畦で日傘をさしながら、「頑張ってー！」と声援を送ってくれる人。

\* レジャーシートで、水の補給をしている人。

\* カメを見つけ、そこに集まるひと。

田んぼの中では、様々な光景が演出されていました。

「みんなちがって、みんないい！！」

そして、刈り終わったのが、なんと10時50分、40分間の稲刈り作業でした。

毎年1回の稲刈りですが、9年も続けると、すっかり要領を覚えてしまうのですね！「継続は、力なり」でした！

● 見つけた生き物たちは・・・

稲を刈っていると、色々な生き物に出会えました。

バッタ（イナゴ、ショウリョウバッタ）、トンボ、チョウチョ、クモ、カナヘビ、ヘビ（ジムグリ）、カマキリ（オオカマキリ、ハラビロカマキリ）カメ（クサガメ）、カエル（アマガエル、土ガエル）

畦に近づくと、たくさんの虫さんたちが稲から飛び出して来る光景には

「田んぼは、虫も育てているんだ！」と、納得してしまいます。

さらに、田んぼの時にしか生えないオモダカ・コナギ・ミズアオイ・ヒエホタルイなどの植物を観察することができました。

● 新米100kg

田んぼでは、コシヒカリを刈り取りました。

そして、お土産は、「のらえもん米」のカラーのシールの貼られた2kg入りの新米を、全部で50袋購入して、宅間さんへのお礼の気持ちを表してきました。

新米は、水分14%までに乾燥させたものです。田んぼの米は、水分28%

以上あるとのことでした。

②キッコーマンしょうゆ工場見学

食卓で一番のなじみのあるしょうゆ。それを作っている工場を見学しました。お刺身や調味料として何気なく使っているしょうゆを、原料やここまで作られてきた歴史を知ると、しょうゆの味がちょっとだけ変わってくるようでしたね。

● 原料は

大豆と小麦と食塩の三つ。

\* 大豆には、うまみやまろやかさをつくる働きがあります。  
カナダやアメリカから輸入されている。

\* 小麦は、あまみや香りをつけます。  
アメリカから輸入。

\* 食塩  
酵母や乳酸菌がはたらくのにいちばんよい環境をつくってやり、  
雑菌がふえないようにしています。  
メキシコや日本の食塩を使っています。

● しょうゆの歴史

①ひしお（醬）

魚や鳥獣の肉や内臓、野菜などの材料を塩漬けにして発酵させたもの。  
大和朝廷の頃誕生。

②こくしょう（穀醬）とぎょしょう（魚醬）

日本人に好まれたのはこくしょう。  
これが今日のしょうゆのルーツ。

仏教の影響で、肉食を嫌った食生活に合い、保存にも便利だったからだと考えられています。

戦国時代に、今日に近いしょうゆが作られました。

そして、江戸時代の中頃、18世紀には完成していたようです。基本的にこのころの製法が受け継がれています。

● 御用醤油醸造所（ごようしょうゆじょうぞうじょ）

宮内庁に納めるしょうゆの醸造所。

原料は、すべて国内産を使用。

このしょうゆは、売店で購入できます。

7、親と子の、いきいき感想

○ いねかりでは、いねをきれいな人に見立てて切っていたら、ストレス発散ができてよかったです。

ものしりしょうゆかんでは、いろいろなしょうゆをためしたが、すごくしょっぱくて、塩分をとりすぎだと思った。けれど、とてもたのしかった。

同年代 だれもいないと しずかなる

いねかりで ストレス発散 えみこぼれ

西新井中1年

- 初めてのいねかりは、とても楽しかったです。  
子どもたちも、たんぼの生き物に一杯触れ合うことができよかったです。  
今日もらった新米で、さっそくご飯をたきたいです。  
来年は、田植えも参加したいです。

いねかりは かまふりまわし サクサクだ  
鹿浜第一小5年

母

- もらった苗をプランターの水田で育てました。  
①いままで通り  
②水もれの穴をふさいだプランター  
③普通の（おかぼ）プランター  
の条件で育ててみました。全てハウスの中です。  
それぞれ育ちがちがいます。①の水田が一番育ちが良く、宅間さんの田んぼより10日早く刈り取りました。  
他のふたつは、まだです。

落ち穂米 集めた粒は 何杯か

鹿浜西小6年 父

- 田んぼにもカナヘビがいるんだな、と思いました。  
いねかりを がんばりすぎて つかれたな

北鹿浜小2年

- 田植えからの参加で、がんばって植えた苗が育ち、稲穂に感動しました。  
キッコウマン 線路をくぐり 醤油づくり

母

- いねかりとしょうゆ見学に行きました。  
いねをたくさんかりました。へびもいました。虫がたくさんいました。  
たのしかったけど、手がいたくなりました。  
しょうゆの工場は、おせんべいを作りました。少ししかやけませんでした。

鹿浜五色桜小5年

- しょうゆ工場がおもしろかったです。  
いねかりも、あつかったけれど、がんばりました。  
いろいろありがとうございました。  
お米を家で食べるのが楽しみです。  
新米と 頭たれるや 小学生

高野小2年

母

- いねかりをやりました。  
おおきいかえるをみつけました。  
あと、かまきりを一ぴきつかまえました。きっこうまんのソフトクリームはおいしかったです。

いねかられ まよいむしたち あふれだす

王子小1年

- たのしかったです。  
つかれてないです。  
へび みました。

かえる いっぱいつかまえました。  
むしとりが すごくたのしかったです。

愛育幼稚園

母

- バッタとカエル つかまえてよかった。  
稲刈りは 大変でした。

田んぼでは バッタとカエル つかまえた

西新井幼稚園年長

父

- 今日は、いねかりをしたたのしかったです。  
そして、しょうゆはどうやってつくられているかを知れてうれしかったです。  
きょうはね いねかりをして たのしいな

北鹿浜小5年

- しょうゆ工場でいっぱい学んで、しょうゆももらえたから、うれしかったし  
楽しかったです。

しょうゆはね とてもしょっぱく あまずつぱい

鹿浜五色桜小6年

- (父に)「いねかりをやれ！」て、いわれた時はいやだなと思ったけど、や  
ったら、意外と楽しくて面白かったです。

あと、へびをつかまえた時、面白かったです。

いねかりは 虫がいっぱい 楽しいな

栗原北小4年

- 初めて稲刈りに参加しました。手伝いながら、5才の娘でもかまでかれました。  
全部、とても楽しかったと言っています。  
田植えも参加したので、お米のできるまでのイメージが少しはできたのかな？  
と思います。

醤油工場も、楽しかったです。まだ娘には難しい事も多いかと思いますが、  
なんとなくは理解できたのかな？と思います。

有り難うございました。

稲刈りの こめつきバッタ のらえもん

さつき保育園さくら組

母

- きょうはあつかったです。  
むしをたくさんつかまえました。  
たのしかったです。

でも、つかれました。でも、たのしかったです。

しょうゆあいすくりうむをたべました。

おいしかったです。

鹿浜五色桜小1年

- いねかりがたのしかったです。  
おにぎりもおいしかったです。  
おなかがいっぱいにならなかったです。

王子第一小1年

- 稲刈りは40分の新記録9年間の継続みのる  
のらえもん

\*\*\* 保育園の先生方の感想です。

- 田植え・稲刈りへの参加は、毎回楽しみにさせていただいています。  
生産することの大変さを味わうことで、貴重な体験となります。  
“体や心で覚えたことは、この先もずっと忘れない”  
いつもありがとうございます。  
秋風に 黄金ゆれる 稲穂かな

伊興保育園

- 宅間さんの稲を見ながら、園の稲も穂をたれるほどになってほしいと願いました。  
新米をいただき、醤油工場で醤油をいただき、あとはサンマがあればということなしです。  
食欲の秋ですね！  
しんまいと しょうゆのかおり あとサンマ  
こがねいろ かぜふくたんぼ あきのそら

本木東保育園

- 稲刈りの時に、ザクッと稲が切れる音、カマで切る感覚がとっても楽しい。  
バッタたちが驚いたように、バタバタと飛んでいく様も、どこか懐かしい感じがすると思いながらの稲刈りとなりました。  
のらえもんの参加は、私にとっては心の栄養だなぁと、しみじみ感じました。  
ありがとうございました。  
稲刈られ 青空見あげる あまがえる

伊興保育園

- いねかりは予想以上に楽しかった。  
切れた時、おもしろいと思った。  
たくまさん おいしいお米 ありがとう

両新田小5年

- 去年は稲刈りに参加できなかったのですが、今年は楽しみにしていました。  
子どもに、自然の恵みや稲刈りの大変さなどを実際に体験させてあげることができ、良かったです。  
「これは、おすし、いっかん分かな？」と想像しながら稲刈りをする我が子が、なんだか「たくましく」見えました。  
本当に、ありがとうございました。

伊興保育園

- キッコーマンの所では、しょうゆせんべいを作れたので、良かったです。  
扇小4年

- 立派に育った稲を見て、新米をいただくのが楽しみです。  
カマで刈ることで、機械のありがたみをしみじみと感じました。  
稲刈りは いろんないきもの せいぞろい

鹿浜こども園

- 稲刈りの時は陽差しも強くなく、よかったなと思いつつ、農家の方は毎日厳しい状況の中でも育てているのだなど、感謝でいっぱいです。  
汗を流し、体を使い、私たちのもとに美味しいお米がやってくる、子どもたちにも実際に体感してもらいたいと感じました。  
保育園の子どもたちに伝えていき、園での稲刈りが良い経験となるようにしていきたいと思います。どうもありがとうございます。  
刈る鎌の 逃げるバッタも 同じ命

第三上沼田保育園

- 皆さんに、キャンプ以来久しぶりにお会い出来、うれしかったです。  
自分たちが植えた稲があんなにりっぱに育っている様子を見てすごいと思  
い、稲刈りが終了した時の達成感は気持ちよかったです。  
良い経験をさせて頂き、ありがとうございました。  
汗かいて みんなで稲刈り 気持ちいい

第三上沼田保育園

- いねかりは、やってみるととても大変で、このようにして自分の家までとどくのを知り、農家の人に感謝です。  
また、工場見学は、知らないことをわかりやすく説明してもらい、知ることができて楽しかったです。  
コシヒカリ 手塩をかけて 日々感謝

北鹿浜小6年

- 園の発砲スチロールで育てている稲は丈は短く実も少なめ、宅間さんの所で育てたものはさすがに立派でした！  
大地・空・空気、とてもいやされました。  
青い空 陽がふりそそぎ 稲光る

伊興保育園

- はじめての稲刈り体験だったので、うまく鎌を使うことができるか心配でしたが、刈っていくうちに楽しくなりましたが、大変さも分かりました。  
また、生き物がたくさんおり、共存していることを肌で感じました。  
新米、おいしく頂こうと思います。  
いねかりで いきものたちと こんにちは  
きっこーまん おいしいしょうゆ ありがとう

鹿浜こども園

- 今年で7回目の参加となりますが、40分で稲刈りができるとは、やはり経験を積み重ねている結果かな？！  
帰ってから、美味しいお米を食べるのが楽しみです。  
光ってる 稲穂も汗も 新米も  
あらためて 歴史を知った しょう油かな

鹿浜こども園

- 思っていたよりも暑くなく、稲刈りを楽しめました。  
参加して3年目となり、手順も覚え、隣りの方に教えてあげられるようになり、驚きです！  
今回、稲刈りでへび・カエル・カメなどに遭遇！  
醤油工場でも、カメに遭遇でした！  
稲刈り後 冷えた麦酒が ほしかった！

鹿浜こども園

- 田植えがつい先日のように感じるのに、稲はこんなにも成長するのだなあと思いました。  
園で育てている稲は、やっと白い花を咲かせて青々としています。もう少ししたら刈り取れると思うと、その日が待ち遠しいです！！  
しょうゆ工場のうどん売り切れ！残念！リベンジするゾー！！  
刈り結ぶ 早く食べたい しおむす（結）び

鹿浜こども園



(上記のイラストは、石井先生です)

- 立派な稲の穂に、まず感激。同じ頃に植えた園の稲は、穂はまだ青いです。やはり、宅間さんの育て方をすごいと感心しました。  
今日は、いつもより美味しくお米を食べられます！！  
稲を刈り 亀を見た後 キッコマン（亀甲萬）

鹿浜こども園